

第4次奈良市地域福祉計画・第3次奈良市地域福祉活動計画

支えあい、ともに生きる 安心と健康のまちづくり



奈良市・奈良市社会福祉協議会

基本理念

支えあい、ともに生きる安心と健康のまちづくり

3つの基本目標

- 「ひと」づくり ～地域生活を支えるひとづくり～
- 「ネットワーク」づくり ～課題を深刻化させない連携づくり～
- 「こと」「場」づくり ～暮らしを支えあう活動・サービスづくり～

5つの重点項目

この3つの基本目標の達成に向けて、5つの重点項目を設定し、取り組んでいきます

① みまもり支援

地域や専門職、民間事業者などの多様な主体による地域の見守りが広がり、孤立の生まれない地域をめざします

地域包括支援センター
(高齢者なんでも相談)

生涯学習の場

生活支援
コーディネーター



近隣同士の支え合い・
日常生活の支援
(ごみ出し・買い物・送迎等)

地域福祉って？

地域福祉とは一人ひとりが地域において安心して暮らすことができるよう地域住民や公私の社会福祉関係者が互いに協力して地域生活課題の解決に取り組むことです
地域福祉は行政や社会福祉協議会だけで実践できるものではなく住民や地区社協、民生・児童委員、社会福祉施設など関係機関・団体が協働し連携していく必要があります

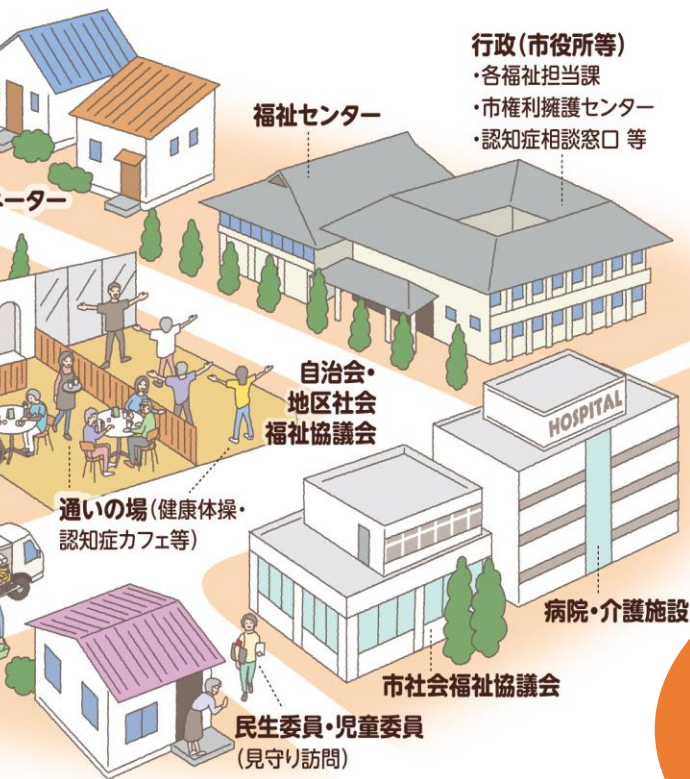
② 相談支援

支援する人も支援をうける人も悩みを抱え込まない体制をめざします

～ひとりぼっち ゼロ プロジェクト～

③ 参加支援

人と人とのつながりを深め、地域での孤立を防ぎ、一人ひとりがいきいきと活躍できる地域をめざします



④ 地域づくり支援

地域全体で主体的に地域福祉の課題解決のために取り組んでいく地域をめざします

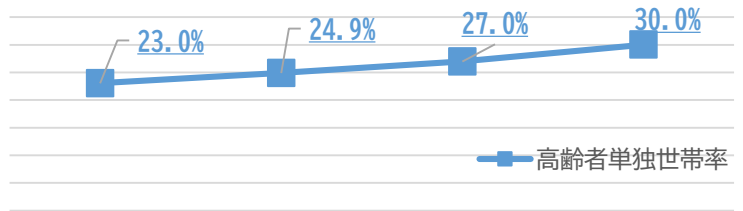
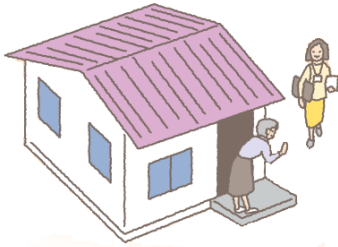
⑤ 災害支援

地域や関係機関、市社協や行政同士のつながりを強くすることによって孤立をうまず、一緒に支えあえるまちをめざします

計画ってなぜ必要なの？

地域に暮らす住民一人ひとりが地域福祉を担う一員として、自分のまちを考え、住みよい地域づくりを行うためです
～全ての課題は孤立から～ 『ひとりぼっちゼロプロジェクト』にご協力ください

①みまもり支援 「あのひとたち」の問題から「わたしたち」の問題へ



平成17年 (2005年) 平成22年 (2010年) 平成27年 (2015年) 令和2年 (2020年)
『奈良市における高齢者世帯の増加状況』(本書P.14)

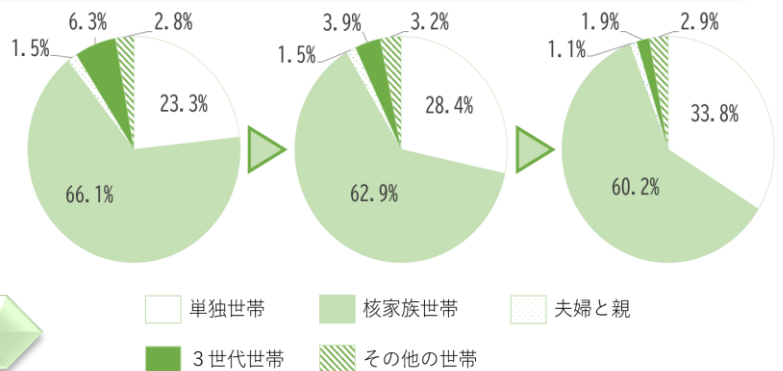
行政が行う基盤づくり

- (1)地域におけるゆるやかな見守り活動を促進します
- (2)地域や専門職、民間事業者等による見守り活動を促進します
- (3)ニーズキャッチから見えてきた課題を施策に反映します

市民(市社協・住民・福祉関係者等)による活動・支援

- (1)地域における見守り活動を強化しましょう
- (2)気づきの拾い上げ、共有・協議の場をつくりましょう

②相談支援 属性や世代を問わない包括的な相談の受けとめ



行政が行う基盤づくり

- (1)切れ目のない相談支援体制を強化します
- (2)多機関連携による支援体制を強化します

『奈良市における単独世帯の増加状況』(本書P.16)

市民(市社協・住民・福祉関係者等)による活動・支援

- (1)協働による相談支援体制を構築しましょう
- (2)エリア支援による伴走支援体制を充実させましょう
- (3)複合的多問題や狭間問題への相談支援の多機関連携を推進しましょう

③参加支援 ありのままの自分があたりまえに受け入れられる居場所



通いの場
ガイドブック
QRコード

区分	合計	割合(%)
高齢者	68,447	78.9
複合型	10,703	12.3
子育て家庭	4,716	5.4
その他	2,320	2.7
身体障害者	250	0.3
精神障害者	134	0.2
ひきこもり	82	0.1
知的障害者	126	0.1
全体	86,778	100

行政が行う基盤づくり

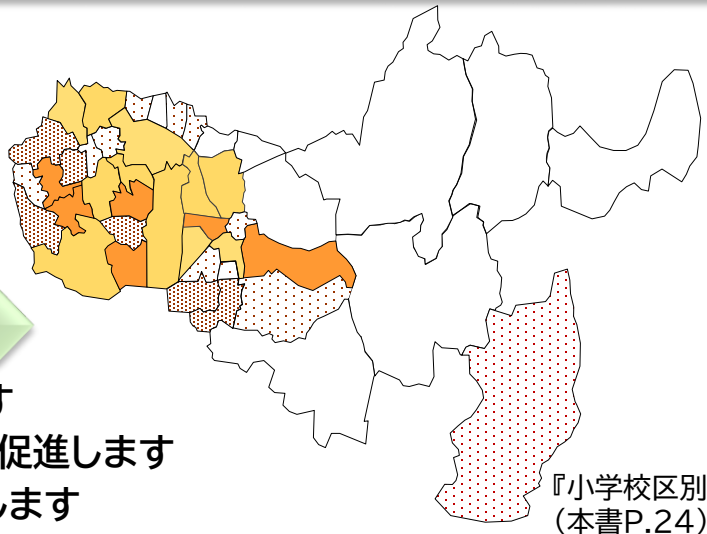
『全国の「ふれあい・いきいきサロン」の状況』(本書P.22)

- (1)生きがいをもって地域で活躍できる居場所づくりを推進します
- (2)地域にある社会資源の利活用を進めます

市民(市社協・住民・福祉関係者等)による活動・支援

- (1)多様なテーマや主体による居場所づくりを進めましょう
- (2)いいばしょプロジェクトによる協働型居場所を開発しましょう
- (3)伴走支援との連動による出番と役割のある居場所づくりをすすめましょう

④地域づくり支援 地域の社会資源開発と共創



『小学校区別人口分布』
(本書P.24)

行政が行う基盤づくり

- (1)地域福祉活動を促進します
- (2)こころのバリアフリー化を促進します
- (3)多様な地域づくりを推進します

市民(市社協・住民・福祉関係者等)による活動・支援

- (1)地域福祉活動の支援を強化しましょう
- (2)幅広い分野への福祉教育を推進しましょう
- (3)地域課題に応じた資源開発を推進しましょう



⑤災害支援 地域で守る仕組みづくりと日頃からの実践



『避難行動要支援者避難行動
個別計画・支援プランの策定率』
(本書P.28)

自治連合会 ブロック	個別避難計画 策定数	避難行動 要支援者名簿 掲載同意者数	策定率
中部	257	1,897人	13.50%
南部	62	802人	7.70%
西南部	365	2,239人	16.30%
西北部	282	1,038人	27.20%
東部	24	170人	14.10%
北部	46	380人	12.10%
都祁	32	102人	31.40%
合計	1,068	6,628人	16.10%

行政が行う基盤づくり

- (1)災害時や緊急時に備えた活動を促進します
- (2)環境の変化があった場合に特に孤立しがちな方に対するの支援を進めます

市民(市社協・住民・福祉関係者等)による活動・支援

- (1)災害時支援体制を構築しましょう
- (2) コロナ禍等における新たな個別課題への取り組みを強化しましょう



詳細版については、QRコードを読み取り、奈良市ホームページからダウンロードしてください
著作権は奈良市・奈良市社会福祉協議会に属しますので、無断転載は禁じます

第4次奈良市地域福祉計画・第3次奈良市地域福祉活動計画 概要版

発行：奈良市／奈良市社会福祉協議会
(表紙イラスト協力：中谷有香)

問合せ先：奈良市(福祉政策課)

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

TEL 0742-34-5196

FAX 0742-34-5014

e-mail chiiki-fukushikeikaku@city.nara.lg.jp

奈良市社会福祉協議会(総務課)

〒630-8454 奈良市杏町79番地の4

TEL 0742-93-3100

FAX 0742-61-0330

e-mail hureai@narashi-shakyo.com